

わたしの 妊娠報告書

記載日 2022年 4月 11日

おめでた宣言日	2022年 4月
年齢 (37) 歳	平成 (23) 年 (10) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (4) ヶ月
他院での治療歴	なし <u>あり</u> → 内容 (人工授精)
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 (2) 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 (1) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

秘訣というものではありませんが大きなポイントになったのは TRIO 検査だったと思います。先の2回の移植ではグレードの良い胚を移植しても妊娠に至らなかったのですが検査にて、子宮内フローラの異常が分かり治療の後一度目の移植で妊娠に至ることができました。ネット上では様々な情報がありますが私にとってはとても大切な検査でした。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

一人目を自然妊娠で授かったので、正直、自分が、体外・顕微授精まである事になるとは思、ていませんでした。そして、一度移植をしたら、すぐに授かれる。とも思、ていました。しかし、フタを開ければ、自分の残りの卵数の少なさ、夫の精子数、運動率の低さ、更にフローラ菌のバランスの悪さ、全てが悪い夢の様でした。その都度の治療の精神、身体、経済的負担は皆インそうですが、かなり辛かったです。

その他（通院・治療費・家族など）

通院は自宅から車で40分程でしたので、それほど苦ではありませんでした。ですが、このコロナ禍で、子供と一緒に連れて来れない事は少し不便でした。一方で、自分が未妊の時、子供が非常に目についたので、コロナ禍関係なしに、子連れ不可は、仕方ないとも感じました。矛盾していますが...
TRIO検査を含め治療費は家計に大ダメージでした。

治療中の方へのアドバイス

「少しでも迷ったら、やってみる」事が大事だと思いました。ステップアップしようか...この検査受けようか...? 私も散々悩みました。やて無駄な事は何もないと思います。検査の度に高額な費用がかかっても、無駄ではないです。治療に一周期費やしたとしても、遠回りではなく、それが今自分ができる一番の近道だと思、います。悔いたけは残さないで下さい。

スタッフへのご意見など

通院中、特に陽性判定を頂いてから、体の変化が著しく、不安な気持ちを含めて受け止めて、適切にアドバイスや対処法を教えて下さい、ありがとうございました。院長はじめ、全てのスタッフの方々のスキルや技術の高さが良く分かりました。無事出産に至、た後、第三子も授かれたら嬉しいです。その際は宜しくお願、い致します。